

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス リアン白糸台		
○保護者評価実施期間	令和6年10月4日		令和6年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 25(71%)
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		令和6年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8(100%)
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との日常的な情報共有や6ヶ月ごとの面談が定着している。記録・計画・モニタリングといった支援基盤が強い。	連絡帳やHUGシステム、チャット機能を活用して利用予定や日々の様子を共有している。個別面談で計画説明と同意を得る運用を行っている。相談支援事業所や他事業所との会議にも積極的に参加している。	連絡帳をHUGのシステムで管理することで紙の連絡帳よりも細かい様子を伝えていく。送迎時等の保護者様とのコミュニケーションは意識的に増やしていく。
2	クールダウン室や個別支援室等の多様な空間が整備されている。	フロア・クールダウン室・個別支援室を用途に応じて使い分けている。また、使用していないときは相談室を案内している。	空間ごとの利用ルールや目的を視覚化した掲示を増やし、ルールの構造化やお子様の選択範囲を広げていく。
3	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応の各マニュアルを整備し、避難訓練や不審者対応訓練を実施している。	月1回の避難訓練、嘔吐処理訓練、不審者対応訓練を実施。施設には二重扉、送迎車両には置き去り防止装置を設置している。	ヒヤリハット事例の共有頻度を上げ、再発防止策のPDCAを職員会議で定例化する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他児童との活動機会が不足している。	職員配置等の安全管理の負担の観点から地域施設との調整が難しい。	近隣施設の窓口の確認。安全に他施設の児童と関わるためのイベント等の開催を検討する。
2	家族支援プログラムや保護者同士の交流機会が十分でない。	職員の時間的余裕がないことや研修を行う手法等が確立していない。支援時間の中で職員配置をすることや保護者様の参加の負担を求めることが難しい。	保護者ニーズを調査し関心テーマと参加可能時間を把握する。同法人の他施設と連携しての交流会の共同開催を検討する。
3	標準化ツールにおける評価の実施が不十分で、支援計画の客観的根拠づけや効果検証が弱い。	標準化されたツールを扱う技術を持った職員が少ない。実施した際の記録の事務負担が高く、職員間の知識差による共有が不十分。専門職による継続支援体制の限定。	外部研修やオンライン研修を活用し、職員が標準化ツール等を扱う技術の習得を行う。記録テンプレートとチェックリストで業務負担を軽減する。